

《担当者名》○塚本容子[yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]  
小松川 浩(非)

## 【概要】

本科目は、5大学連携事業の科目である。

異分野連携にもとづく、新しい地域貢献のあり方をワークショップにより検討する。

異分野連携の推進ならびに高度専門職業人にとって必要となる、コミュニケーション、協働(コラボレーション)、リーダーシップ・フォロワーシップ、さらにそれらを細分化したプレゼンテーションスキル、ファシリテーションスキル、リーダーシップスキルをワークショップを通じて修得する。

合わせて、地域の医療施設等でのフィールドワークなどを通じて、地域における諸課題のアセスメントの方法を学習する。

## 【学修目標】

異分野連携にもとづく、新しい地域貢献のあり方に関する検討を通じて異分野連携の推進ならびに高度専門職業人にとって必要となる、コミュニケーション、協働(コラボレーション)、リーダーシップ・フォロワーシップのスキルを修得する。

1. 北海道における地域課題を明確にする方法を理解する
2. 異分野連携におけるコミュニケーションのスキルを獲得する
3. 問題解決のためのファシリテーションスキルを獲得する
4. 問題解決を推進するためのリーダーシップのスキルを理解する
5. 地域での医療施設において、課題を明確にするスキルを理解する

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	異分野連携目的・連携推進	【学習方法：対面授業】 授業に対してどのように取り組みればよいのか理解する。 異分野連携を通じた地方創生について理解する。 地域アセスメントの概要について理解する。	塚本
2 3	異分野協働の問題解決におけるストラテジー：コミュニケーション	【学習方法：対面授業】 異分野協働による問題解決をすすめるためのコミュニケーションを円滑に行う技術を理解する。 異分野理解のために必要なプレゼンテーションスキルについて理解する。 グループワークにおけるツールとしてコミュニケーションスキルなどを実践することができる。 グループワークを通じて地域の課題を抽出することができる。	塚本 小松川
4	異分野協働の問題解決におけるストラテジー：ファシリテーション	【学習方法：e-learning】(60分) 問題解決のための話し合いを適切・円滑にすすめるためのファシリテーションの技法の基礎について理解する。 動画を視聴後に、指定の課題に取り組む(30分)	塚本
5 6	異分野協働の問題解決におけるストラテジー：ファシリテーション	【学習方法：対面授業】 講義で学んだ問題解決のためのファシリテーションの技法について、異分野を専攻している学生同士でグループワークで実践することができる。	塚本 小松川
7	異分野連携の促進におけるストラテジー：リーダーシップ	【学習方法：e-learning】(60分) 問題解決を推進するための適切なリーダーシップのあり方の基礎を理解する。 動画を視聴後に、指定の課題に取り組む(30分)	伊藤宏徳(特別講師) 塚本 小松川
8 9	異分野連携の促進におけるストラテジー：リーダーシップ	【学習方法：対面授業】 成果を生むための思考のメカニズムについて知る。 リーダーに求められるマネジメント能力とリーダーシップについて理解する。	伊藤宏徳(特別講師) 塚本 小松川
10	異分野連携プロジェクト	【学習方法：フィールドワーク】 地域の医療施設でのフィールドワークを通じて地域の	塚本 小松川

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13		アセスメントの方法等について学習する。	
14 ┆ 15	まとめ	【学習方法：対面授業】 これまでに学んだ知識・技能を総合的に活用し、プロジェクトのまとめ、ならびに成果発表・プレゼンテーションを実践することができる。	塚本 小松川

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

e-learningの履修状況（20％）

プレゼンテーション（80％）

【教科書】

適宜資料配付、講義内で随時提示

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

<看護学専攻>

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

<臨床福祉学専攻>

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。